

仮想アプリケーションでの日本語入力が正常に動作しない

2026/09/17 19:03:04

記事印刷

区分:	ACCOPS FAQ::05. トラブルシューティング	投票:	0
ステータス:	公開 (全員)	結果:	0.00 %
言語:	ja	Last update:	2026/06/22 - 12:56:09

キーワード

IME 日本語 変換 アルファベット 英語 WorkspaceClient

症状 (公開)

HyWorksにて、リモートAppモードにて仮想アプリケーションを公開している環境にて、Workspace Clientより仮想アプリケーションへアクセスし、日本語入力を行うと、

- 不要な文字が入力される
- 漢字変換が行われない

など、日本語入力が正常動作しない状態となります。

(再現事象)

- 「仮想アプリ」と入力するために、「kasouapuri」と入力すると、「karかそうあぶり」のように、英文字が先頭に入力されるなど不正な変換が行われます。

(発生条件)

- 当事象は以下の条件で発生することを確認しております。
- 接続元のクライアントPCが、Windows 11 である。
- 接続先のセッションホスト（仮想アプリケーション）が、Windows Server 2025 である。
- 接続プロファイルにて、「リモートApp」モードが設定されている。
- HyWorks管理コンソール > 接続プロファイル > アクセス設定 > 起動モード に「リモートApp」が設定されている。
- Workspace Clientより、仮想アプリケーションにアクセスしている。

問題 (公開)

当事象は、ローカルセッションとRemoteAppセッション間のIMEコンテキスト切り替えに関連していると考えられ、日本語テキスト変換中にWindowsフォームアプリケーションで不安定な動作を引き起こす事象があるようです。
(参考情報) Microsoftのサポート情報Blogより。
[1]RemoteApp 利用時の IME に関する事象と対処策について

[1] <https://jpwinsup.github.io/blog/2025/07/14/RemoteDesktopService/RemoteAppIMEIssues/>

解決 (公開)

【回避方法】
接続元のクライアントPC側で、Microsoft IMEの互換性の設定にて、「以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う」をオンにすることにより、現象を回避することができます。

【設定方法】
1. タスクバーのMicrosoft IMEを右クリックして、表示される「設定」をクリックします。
2. Microsoft IMEの設定画面が表示されますので、一番上の「全般」をクリックします。
3. 表示された画面を少し下にスクロールすると、互換性の欄に「以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う」がありますので、オンに変更します。

Related Product, Service (公開)

Windows 11 + Windows Server 2025